

「何の意味があるの?」という問いに答えられますか? 中国模倣品対策の実務

～費用対効果のある模倣品対策を実施するための3つのポイント～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日 時▶2017年5月11日(木)13時～17時 日 時▶2017年5月26日(金)13時～17時

会 場▶企業研究会セミナールーム 会 場▶ホテルコンサルト新大阪
(東京:麹町) (大阪:西中島)

《開催あたって》

本セミナーでは、調査会社において多数の調査・摘発案件に関与した経験、弁護士として多数の知財訴訟に関与した経験を有する講師により、単なる法律論だけでなく、現場の実務に基づく具体的な対応方策を具体例を交えて紹介します。費用対効果のある模倣品対策を実施するためには、①正しく模倣品対策の意義を理解した上、②必要最低限のコストで最大の効果を上げる戦略、戦術を取り、かつ、③それらを誠実に実行する代理会社が重要です。また、中国における代理人は、知識、法的思考力、クライアントのニーズの把握やコミュニケーション能力等において未熟な場合も多く、権利者企業側に相当な知見がないと適切な代理人を選択できない状況となっています。本セミナーでは、費用対効果のある模倣品対策を実現するための知見の習得に加え、中国代理人を適切に選定できることも目的とします。

講 師 弁護士法人キャスト パートナー 弁護士・弁理士 島田敏史 氏

講 師 紹 介 中国知財、日本知財を専門とする日本国弁護士。2011年に渡中後、特に知財案件に関して2,000件以上の案件に関与。特に中国については、自前の調査員による調査・証拠収集・公証手続から摘発、審判・訴訟といった法的対応までワンストップで対応。クリアランス調査や先使用権確保といった日中知財関連の予防法務についても多数サポート。特許庁審判部に非常勤として勤務する経験を活かして、日本での侵害訴訟、審判・審取訴訟についても積極的に対応。

《申込書送付先》 FAX▶03-5215-0951 ※当会 HP からもお申し込み頂けます。 企業研究会Q 検索

■受講料:1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	34,560円(本体価格 32,000円)	一般	37,800円(本体価格 35,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

希望会場に「✓」をご記入下さい。

	東京開催 (5/11)	171201-0303 (※)		大阪開催 (5/26)	171202-0303 (※)
ふりがな 会社名					
住 所					
TEL			FAX		
ふりがな ご氏名			所 属 役 職		
E-mail					

※申込書にご記入頂いた個人情報、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛 E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからお申し込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail:tamiaki@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

ご好評により『東京』『大阪』にて開催!

・プログラム・

- 誤ったイメージをなくすことから
 - 「模倣品がなくなれば売上が上がる」は嘘である
 - 「模倣品がブランドを傷つけている」は嘘である
 - 「模倣品の質は劣悪」は嘘である
 - 「模倣品は知財の問題である」は嘘である
 - 「中国人は模倣品が好き」は嘘である
 - 「中国政府が模倣品を黙認している」は嘘である
 - 「摘発しても模倣品の販売は止まらない」は嘘である
 - 「模倣品の製造元を止めれば模倣品はなくなる」は嘘である
 - 「模倣品販売業者は巧妙化を進めている」は嘘である
 - 「どこかに大規模な犯人がいる」は嘘である
 - 「模倣品は永久に変わらない」は嘘である
 - 「自社に限っては調査会社に騙されていない」は嘘である

2. 模倣品対策の意味は?

- 模倣品が出る理由を把握する
- 闇雲に対策するのはコストの無駄
- 無駄な対策の例
- 模倣品対策の正しい意味の見つけ方
- 必要最低限のコストの考え方

3. 模倣品対策の戦略を立てる

- 被害を効率的に把握する
- 被害の「質」の把握と「量」の把握
- エンフォースメント手段の使い分け
- 真正品販売による模倣品排除
- 啓蒙による模倣品排除
- 広告による模倣品排除

4. 模倣品対策の個別戦術例

- 効率的な模倣品被害実態調査の具体例
- 警告状送付だけでの解決事例
- 行政摘発、刑事摘発におけるコスト削減例
- 効率的な水際対策の具体例
- 効率的なインターネット上の模倣品対策例
- 広告、啓蒙、真正品販売による模倣品排除事例

5. 中国調査会社との付き合い方

- 中国調査会社の実態
- 調査員はどんな調査をやっているのか?
- どこまで調査できるのか?
- 適正な調査料金は?
- 嘘の報告をするというのは本当か?
- なぜ、調査会社は案件を偽造するのか?
- 虚偽案件の見抜き方
- 正しい調査会社との付き合い方
- コネクションは必要か?

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。